

囲碁入門講座通信 令和3年 第30号



報告:有楽斎

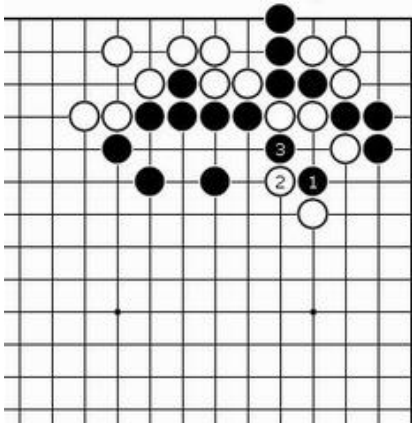
毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しいところですが、**現在休局中です**。(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用に詰碁の練習問題を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠) **あっと驚く“魔法の手筋”を実戦で使いこなすために**

碁が少し強くなり、ウツテガエシやオイオトシなどが実戦でもひと目でわかるようになると、もうこれらの手段を「手筋」とは言わなくなります。そして、サガリやオキ、二目にして捨てる、鶴の巣ごもり…などの高度な”魔法の手筋”へと進んでいきます。手筋を知り、実戦で使いこなしていくことは、上達に不可欠であるばかりでなく、より高次元の碁の面白さを味わうためにも欠かせません。

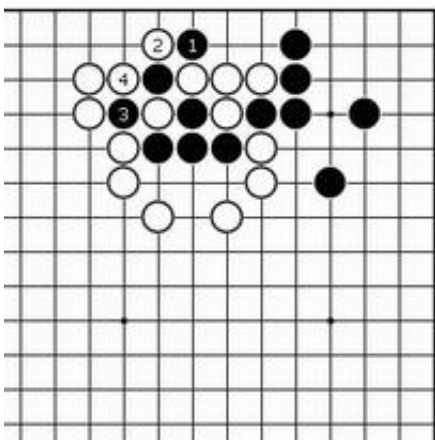
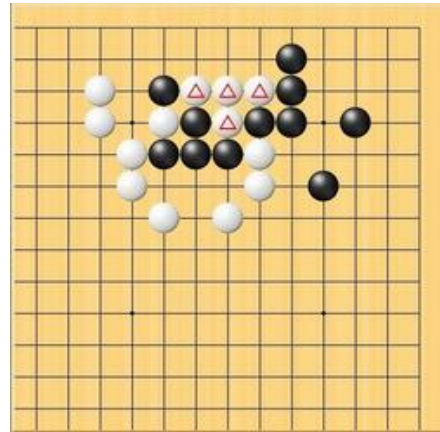
手筋問題1 正解と解説 (前号のつづき)

手筋問題2 黒番 白石△4子を取ってください。



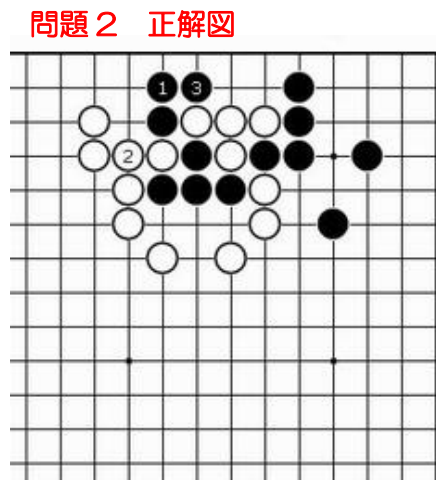
問題1 正解図

黒1がこの形の急所で、白2には黒3で取れています。白2で3なら、黒2です。黒1の手筋は考える以前に、直感的に目が行くようになってください。



ヒント

黒1と取り急ぐのは白4まで。アタリの2子をつげば、黒1の石が取られて失敗です。



問題2 正解図

黒1と冷静に下がっておくのがよく、白は2につぐしかありません。この後はダメの数が3対3なので、順番に詰めて攻め合いは黒の勝ちになります。